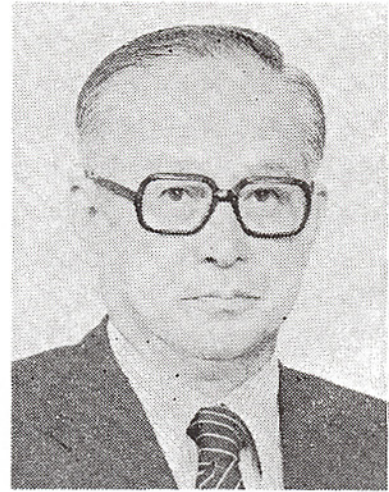


## 祝 辞

日本化学繊維協会 会長 宇野 収

高分子学会が設立 30 周年を迎えられたことを心からお喜び申し上げます。

振り返ってみますと、高分子学会の前身である日本合成繊維研究協会が設立されたのは昭和 16 年で、米国におけるナイロン発明の報に、戦雲急を告げる中、わが国における合成繊維開発促進のため、産学官共同で研究に取り組むことになったものであります。その後、研究内容も高分子全般に拡大され、高分子化学協会を経て、今日の高分子学会に至っております。このように、高分子学会はわが国合成繊維研究の原点であり、わが国化学繊維工業の今日の発展は、学会における研鑽と相互啓発の賜物であるといっても過言ではありません。



わが国の化学繊維工業の現況は、残念ながら、昭和 48 年の石油ショック以来、原燃料面で優位に立つ米国、人件費が安く、新鋭設備を有する近隣諸国の間にあって、深刻な構造不況に陥り、その前途は多難なものとなっております。これを打開するためには、徹底したプロセスの合理化とともに、商品の高付加価値化、新しい高機能繊維の開発が急務であり、現在業界をあげて努力を続けているところであります。また業界各社では、事業の安定化のため、これまで培われてきた高分子化学の知見や微細加工技術を応用して、人工臓器などの医療分野や、光通信などの情報分野も手がけつつあり、さらにバイオケミストリーやエレクトロニクスの分野にも進出を図っております。

高分子化学は既に壮年期にあるといわれ、一般繊維用素材としての新しい化学組成の高分子開発は、あまり期待できないと思われまふ。しかし、高分子の微細構造を制御することによって、画期的な機能を発現させることが可能であり、このようなポリマーファインケミストリーの発展により、各種の機能性高分子材料が開発されることが期待されます。自然界においては、植物はもちろん、動物もその根幹をなすものは巧妙な機能をもった繊維であり、機能性高分子材料を繊維化することによって新しい繊維分野が開拓されるのではないかと期待されます。

このようにみてみますと、化学繊維業界の将来にとって、高分子化学の発展は不可欠であり、今後とも産学交流の場として、貴学会のますますのご隆盛を祈念するものであります。

## 祝 詞

日本プラスチック工業連盟 会長 鳥居 保治

貴会学が高分子科学の進歩、産業の発展さらに生活・文化の向上を期し、英知と活力をもって、幅広い活動を繰り広げられ、輝かしい設立 30 周年を迎えられたことを心からお祝い申し上げます。

日進月歩の時代とは言え、わずか 30 年の間に、貴学会がめざましい隆盛を築き上げられ、国際的にも高い評価をお受けになっておられることに深く敬意を表しますとともに、広く産業界に多大の貢献をしていただきましたことに対し、プラスチック工業に携わる私どもは常日頃から感謝いたしておりますが、ここに重ねて謝意を表する次第であります。



さて、ここ 10 年来、資源・エネルギー問題をはじめとし、幾多の難問が山積した厳しい環境下にあり、これらの諸問題を克服し、新時代への適応の道を開拓しなければならないことは周知のとおりであります。

昨今、私どもプラスチック工業界も資源・エネルギー問題、世界的不況さらには海外品の輸入圧力なども加わり深刻な状況に見舞われております。しかしながら、プラスチック製品はその優れた機能から人間生活と深くかかわり合いをもつ不可欠なものであり、私ども業界といたしましては、供給の安定を図ることが使命と認識いたしております。このため、私ども業界はこの厳しい状況を克服する根本的な打開策に真剣に取り組んでおり、また、プラスチックの廃棄物処理や有効利用の推進ならびにプラスチックの安全・衛生性の確保などの諸問題について、業界をあげて精力的に取り組んでおります。これらの推進ならびに次世代への新展開を図るためには、これまで以上に、貴学会のご指導を仰ぎ、また、ご援助を賜らねばならないと存じますので、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

貴学会におかれましては、設立30周年をお迎えになるのを機に、来世紀への展望に立たれ、「高分子の普及と若い人材開発」、「基礎科学の振興と産学官研究協力機構への寄与」および「国際交流活動の推進」の三つのテーマを中心に活動を展開されると聞き及んでおりますが、誠に当を得たもの存じます。

貴学会が30周年の記念すべき時を迎えられるにあたり、改めて、その業績の偉大なることに敬服するとともに、今後「独創」を旗印にますます発展され、その隆盛が斯界の発展のために貢献することをお祈りいたします。

# 30

## 設立30周年記念事業項目

- ①——高分子普及基金の設置
- ②——高分子研究協力機構準備基金の設置
- ③——高分子科学技術国際交流基金の設置
- ④——記念行事
  - 1 = 記念式典・記念講演会・記念パーティ
  - 2 = 記念シンポジウム
  - 3 = 支部記念行事
  - 4 = 永続会員の表彰
- ⑤——会誌「高分子」記念特集号

\* 記念事業を推進するため、正会員から、1口3,000円以上の寄附をお願いしています。

高分子学会